



最近話題になった和歌山県田辺市の資産家窃盗事件
600万円の現金と5400万円相当の貴金属が74歳の資産家宅から消え
交際していた27歳の女性が逮捕されるという事件
総資産は数〇億にのぼるそうで
壁には2億5000万円のルノワールや
数千万円するシャガールなどの絵画が飾られて
寝室には無造作に帯付の数千万円が置かれていました
38台の防犯カメラが設置されているそうですが
報道されてしまうと泥棒に入ってくれと言っているようなものですね
聞くところによると田辺のお金持ちは
病院へ行くのも、遊びに行くのも
白浜空港から東京へ行く方が多いそうです
この事件を機に交際中の38歳元モデルと婚約したらしいです
和歌山県…全国の皆様にアピール出来たでしょうか？

～3月号掲載内容～

- *世界の状況
- *日銀マイナス金利導入
- *この背景には…
- *マイナス金利…果たして効果はあるのか!?
- *習近平総書記の外遊
- *中国の「爆援」の意図は!?
- *原油の安値で何が起こるの!?
- *中国人の爆買い
- *実習について
- *組合で実習生に教えていること
- *日本人と中国人の考え方の違い

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先：info@ibia.or.jp

世界の状況

このところ7月の参議院議員総選挙を巡る動きが荒々しくなってきました。

また、原油安の影響を受け一般消費者にとってはガソリンが安値になり嬉しい限りですが、日銀や政府にとってはデフレが収まらずアタフタしています。

一方、株価に目を向けると日経平均が全体として安値を付けたまま、円や安全資産(?)として各国通貨に対し高値を付けています。

米国ではF R B (連邦準備委員会)は2次利上げの議論より、今年11月8日に予定されている大統領選挙一色と言って言いほど過熱してきました。既存の政党に愛想を尽かした国民は、共和党の不動産開発とカジノを営むトランプ氏、民主党ではクリントン氏が。

今日は大統領選の行方が決まるというスーパーチューズデー…さてその行く先は…。



トランプ氏

クリントン氏

中国を見てみると…習総書記は外遊に忙しくしています。同国経済は破綻とまでは行かなくとも非常に低迷をしている事は事実であり、不動産業者の夜逃げラッシュを皮切りに業種に関係なく企業家の夜逃げが起きています。

共産党における習総書記と共青团派の隠れた権力闘争はどうなるのであろうか…また、米国の大統領選挙の間隙をぬってか…南沙と西沙諸島にミサイルやレーダーを配置するなど拡張主義を台頭させています。権力闘争と経済運営…中華思想が基づく拡張主義、果たしてうまくいくのでしょうか!?

欧州ではシリアの内戦状態などにI Sが絡み、これに米国やロシア中東諸国の利害関係がぶつかっています。また、難民問題など英国のEU脱退問題も混沌としています。

もうすぐサクラが咲く季節なのに…世界に春がやってくるのは何時になるのやら。

日銀マイナス金利導入

今回導入されたマイナス金利は「マイナスの量的・質的金融緩和」で所謂「追加緩和」です。

既にユーロ圏、スイス、スウェーデン、デンマークでは導入されており今更驚く事はないですが、ここぞとばかりに報道は騒いでいます。

この追加緩和とは、金融機関が日銀の当座預金に預けたお金に対して支払う金利を、変更前の0.1%からマイナス0.1%に引き下げるというもの。

金融機関が日銀に預けているお金は約250兆円で、これまでの金利は0.1%だったので年間約2500億円の利息が金融機関に支払われていた事になります。これがいきなり引き下げるのではなく3階層方式を採用し、金融機関の規模に応じてマイナス金利を設定するというもの。

マイナス金利の目的は、銀行が預金などで集めた資金を日銀に預けるのではなく、融資、有価証券購入などの投資、または個人消費や住宅購入を増やし企業の設備投資などを増やす効果が狙いなのです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先 : info@ibia.or.jp

この背景には…

日銀は2%の物価目標を掲げ、それを達成する為の手段として2013年4月に量的・質的金融緩和を導入しました。現在の消費者物価指数は原油安の影響もあり上昇率がほぼゼロ%の状態です。これ以上物価目標の2%に到達する時期を遅らせる事が出来ないとして追加緩和に踏み切ったという訳です。

物価下落の要因は資源安の影響で電気・ガス・ガソリンなどエネルギー価格が下落している事が主な原因ですが、消費者にとっての物価下落は有り難い事です。その反面物価が安くなるという気持ち(デフレマインド)が長く続いてきたので買い控えが当たり前となり、過度な値下げ競争が企業売り上げを引き起こし業績が悪化し、その結果株価や経済に悪影響を引き起こしてしまうのです。

日銀は量・質的な金融緩和を実施し、年80兆円と途方もないペースで国債を市場から買い上げ、引き上げ、日銀が供給する通貨量を引き上げる所謂マネタリーベース引き上げ、長期金利を引き下げています。このほか株式市場の挺入れの為に3兆円ペースで株式を買い入れています。これだけでは経済が良くならないとしてマイナス金利を導入したのです。

マイナス金利…果たして効果はあるのか!?

現在まで金融機関の多くは民間から資金を集め日銀に預ける…これを主として儲けてきました。何もリスクを犯さなくても良いです。

マイナス金利で日銀の狙いは「日銀の当座預金に資金を寝かせておけばマイナス金利となる、これより民間に貸し出す方が良い」「金利が下がれば企業は積極的に借入を行う」

しかし、現在の状況は決して日銀の狙い通りにはいかないのではないのでしょうか!?

その理由は、既に金利は異例の低水準にあります、これ以上下がったとしても実態経済を刺激するほどの効果は期待出来ないでしょう。特に地銀や信金などの中小金融機関は、リスクの高い民間への貸付を避けて国債による運用しかしてきませんでした。このため民間への貸付の審査能力を失ってしまっています。

地方都市では…特に和歌山では地方の銀行、信金は殿様扱いです。現在でも新規の企業が借入を申し入れれば保証協会の保証という答えが回ってきます。全く審査能力が無くなっているのです。何の為の銀行でしょうか!?! きっとこのツケが回ってくるでしょう。

分かり易くいうと…日銀は異次元の金融緩和をしてきましたが、これが民間への貸出に回りません。今度は半強制的に回さなければ預かり利息を取るぞ…と言うのと同じです。

しかし、既に民間銀行が貸せるところに貸付をしており、新たに貸せるところがない上に審査能力もない…その効果は日銀が考えるほど望めないのではなからうか。

習近平総書記の外遊

このところ習総書記は外遊に忙しい。

昨年からの報道を見ると英国との間で400ポンド(620億ドル、約7.1兆円)の投資計画が発表され、アフリカ諸国には600億ドル(約7兆円)の経済援助、中東の産業育成には350億ドル(約4兆円)の融資、インフラ建設に200億ドル(約2.3兆円)など中東諸国には総額約7兆円出すと表明しています。

中国人民銀行の発表によると、中国の外貨準備高は昨年12月末時点で3兆3300億ドル、前月時点と比べて1079億ドル減少しています。このうち米国債保有残高は1兆2237億ドルと金の準備高592億です。

一方、習総書記の外遊による援助額は莫大なもので、正に中国の「爆援」こと莫大な援助です。

さて、外貨準備高が減っている事は間違いのない事実ですが、一体この意図はどこにあるのでしょうか!?



アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

中国の「爆援」の意図は!?

中国経済は鉄鋼をはじめ、過剰設備に苦しんでいます。従来製造された物は中国国内を主に海外(米国・韓国・日本など)に輸出されてきました。ところが先進国の経済状況などから輸出が難しく、国内においても地方政府の多大な債務等が原因でインフラ投資がこれ以上出来ない状況にあります。この為に活路を海外に頼るしかないのですが、米国・日本・韓国は難しく、欧州に目を向けると英国に頼るしかなく、また発展途上国のアフリカや中東諸国しかないのです。言い換えると余った鉄などの製品をアフリカや中東諸国に持って行き売却する、その代金を貸付け(援助称する)将来の借金返済として受け取るのです。工事は中国人が請負…とこんな構造ではないでしょうか!?

この資金は外貨準備金であったり、中国の主導で発足したA I I B (アジアインフラ投資銀行)からの資金であったり、I M F (国債通貨基金)のS D R (特別引出権)のお墨付きをもらう事が決まり、国債通貨としての人民元立にするという事でしょう。

習総書記は一見危なっかしいと思われそうですが、結構やり手ですね。

南沙諸島では米国の足元を見てミサイルを配置し、周辺諸国を強権で押さえつけ領土の拡張をし、正に中華思想の本音が出てきましたよ!!

日本はCレーンを絶対に守らなくては! 日本経済の生命線の一つです!!

原油の安値で何が起こるの!?

リーマンショック(2008年)以降に株、債権市場に向いていた投資マネーの行く先は原油先物に移ってきました。これに世界の金融緩和が手伝い膨大なお金が原油先物に流れ込んだのです。

米の金融緩和策終了後(2014年)、従来1バレル100ドル位だった原油価格が1月の先物価格では26.55ドルつけ、12年ぶりの安値価格をつけた先物価格です。供給は需要を10%程度上回っているに過ぎないのに。これには数々の原因があります。米国の原油産出量は世界一になっていますが、これはシェールオイルの開発によるものです。

産出量3位のロシアは国家収入の半分以上を原油関連産業に頼っている事もあり、過去最大の生産レベルに達しています。

イランは経済制裁を昨年解除されたのを受け増産に踏み切っています。

サウジアラビアは産出量2位ですが、この国が主導する世界最大のカルテルといわれるO P E C (石油輸出国機構)が仲介をして価格維持を図ってきましたが、米国のシェールオイル開発を阻止する目的で増産し、原油価格を引き下げる戦略をとっている事もあり指導力が発揮できないどころか減産をもしないと表明しています。

2月23日の訪米中のヌアイミ石油鉱物資源相はテキサスの講演で、産油国の減産を探る動きについて「時間の無駄」と語り減産に消極的姿勢を示しました。

同じ産油国のベネズエラでは激しいインフレで、市民の生活を直撃し巨額の財政赤字に苦しんでいます。

原油の産出原価は各国によって様々ですが、米国のシェールオイルに限っていうと1バレル50ドルより下がると赤字だと言われています。このシェールガス関連企業4,000社以上に投資家、ファンド、銀行から100兆円の資金が出されていると言われています。中小企業を中心に倒産が相次いでおり、この上にF R Bの金利が引き上げられました。3月には企業に対する銀行融資の見直しが行われ、このうち3分の1は経営破綻するのではないかとも言われていますが、そうすると30兆円が消える事になります。

これはリーマンショックの二の舞になる恐れがあるので、ニュースをよく見て欲しいです。

中国人の爆買い

未だに衰えを見せない中国人観光客…大型観光バスが次々と到着しては乗客が商店街へと消えていきます。

大阪心齋橋で中国人が一際賑わっている店と言えば総合免税店を謳っているラオックス。

このラオックスは銀座をはじめ全国に 36 店舗あり、日本製品と中国人を上手く結びつけ売上を伸ばしています。

ラオックスの社長である羅怡文(ラ・イブン 1963 年生)中国出身の実業家ですが、上海で百貨店勤務を経て 1989 年来日、1991 年に東大大学院経済学研究科修了、1992 年に東京池袋に中文書店を開店、1995 年に中国新聞や中国映像コンテンツの配信を行う中文産業株式会社を設立、1996 年に横浜国立大学では大学院経済研究科を修了しており、その後も会社設立を行い 2007 年には家電量販店ラオックスとフランチャイズ契約を締結し、2009 年にはラオックスの主要株主になった事から同社の社長に就任し、現在では中国人向けの総合免税店に業態を転換して経営しています。

今から十数年前に大阪堺筋に上海新天地という中国製品を扱っている小規模なショッピングモールが出来ました。当時は中国へ観光する日本人も増えてきた頃で上海新天地は珍しく感じたものです。中国のお茶屋さんで良く見る切り株のテーブルや椅子、茶器や屏風、花瓶や飾り物と言った民芸品や、食材や DVD プレーヤーやラジオなどの家電などが売られており、たまにピータンを買いに行き楽しませてもらったのを覚えています。

今は時代も変わったので中身がガラリと変わりましたが、これが羅社長の手掛けた会社「上海新天地株式会社」で、その後に日本観光免税株式会社に社名変更しています。

心齋橋を歩いていると目につくのが赤い看板に免税の文字、どの店にも掲げられています。外国人旅行者の場合は消費税の支払いが免除されます。どうしてラオックスに人が送りこまれるのでしょうか…それはツアー行程の中にラオックスが組み込まれており、売り上げた金額に応じて旅行会社に 8%~12%をキックバックしているのです。ツアー会社もラオックスへお客を運ぶのです。旅行会社によっては団体ツアー金額を安価にしてもキックバックで収益を上げている場合もあります。

中国人が独自マーケティングで中国人好みの品揃えをしているので、免税・立地・接客の次に売上を伸ばす大きな要因になっているのでしょう。

今や春節や国慶節に関係なく中国人で賑わっているラオックスです。

実習について

当組合では中国、タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジアの送出し機関と提携をしています。提携した各国の国民性はそれぞれですが、総じて言えることは日本のように何事にも厳格ではありません。傾向として実習生需要が中国からベトナムやタイにシフトしていますが、現在のところも中国から一番多く受け入れています。

組合は勿論、受入れ企業にも習慣や考え方の違いを知ってもらう事が必要です。

例えば、実習生を連れて食事に行きました。日本人は「天津飯」を注文したのですが実習生は「それはどんな料理ですか!?! 聞いた事がありません」と言います。中国料理に天津飯が実在しません。ついでに言うと「天津甘栗」も実在しないのです。

このように、中国を含め外国を知っているつもりが一番危なく、或いは「おかしいのは中国人」と決めてつけるもの間違いも元です。

そこで少しだけ中国人を理解するために慣習や考え方をまとめてみました。

当組合では実習生に対する「教育」と「日本人と中国人の考え方の違い」を教えていますので参考にしてみてください。

組合で実習生に教えていること

日本の会社で注意すること		
1	挨拶	日本では顔を会わせた時は笑顔で自ら進んで大きな声で相手に向かって挨拶をする。これは日本の会社では非常に重要な点。もし自分から挨拶しなかったり、挨拶に答えなかったりすると無視しているような印象を与える。仕事が終わるときも「お疲れ様でした」「お先に失礼します」などを言うべきである。家や工場に戻った時には「ただいま」ということ。家や工場を離れる時には「いってきます」を言うこと。挨拶は人と人の心の付き合いにとまります。
2	個人と集団	日本は自己より集団の方を大切にする。実習をする場合個々の人の能力より集団の能力を大切にする。中国人は集団より個人の主張が激しい、そうすると集団で仕事をする時に集団の能力が半減する。仕事をする時は個人が「この方法」が良いと思っても集団に迷惑を掛けることがあるので上司の指導に従ってください。良いと思う方法が有れば必ず上司に相談してください。
3	大声	公共の場所(公園、広場、バス停等)で大声で電話したり、汚い言葉を使ったり、騒いだりすることがないように。(このような行為を日本語では“下品”と表現する)個人の評価の低のみならず、大きくは中国人全体の評価の低下につながる。
4	5Sで快適な生活	仕事で使った道具、台所や調理道具を片付けよう。ベッド、寝室を整理整頓しよう。ごみの分別をしよう。シャワーを毎日浴びよう。汚れた服を変えよう。シーツや布団カバーも変えよう。 整理、整頓、清掃、清潔、 ^{しつけ} 躰(綺麗に保つ) 5Sを実行し、快適な実習生活を送ろう。
5	人と会話する礼儀	人と話をする時に舌を出す、舌打ちをする、日本人はこれらの行動に非常に不快と考える。人と会話する時は真面目にしよう。足を組んで会話をする行為は上司に不快感をもたらします。
6	煙草の分煙	日本では車内、会議中の喫煙は特に許しがなければ出来ない。日本では喫煙専用の場所と灰皿があるので決められた場所で吸いましょう。
7	自転車	日本では自転車の二人乗りは違法です。 警察に罰せられる恐れがあるので注意すること
8	生活習慣	工場や宿舎に入る際には必ず靴を脱いでください。公共の場所での衛生を重視しない(ごみを散らかす、痰を吐く等の道德心の無い行為)等は非常に無礼な行為、日本人はこれらの行為に神経質。
9	休み門限	長時間外出するときは必ず届出をする事。会社の門限は必ず守る。病気や用事で休む場合は事前に社長や上司の許可を取って許可を受けた上で休みを取る。これをしてしないと無断欠勤となり不利になる。たとえば門限10時の場合、10時前には宿舎に戻っておく事が必要である。
10	仕事をサボる、私用電話をかける。	体の調子がおかしいときは責任者に言って休みを取るようにする。仕事中にトイレの時間が非常に長かったり、頻繁に行ったり、仕事中許可無く私用電話をすることはやめてください。日本企業の多くの仕事は高度な集中力を必要とする。私用のために理由を見つけては頻繁にトイレに行くことはできない。特に生産工場ではグループで作業する為、一人が欠けると全体に影響が出てきます。日本人は「集団意識」を非常に重視します。

11	トイレ	トイレに生理用品など詰まらせるものを流さない。個人の資質が問われます。
12	契約 約 束	日本企業に残業や給与の増加を要求する。給与や残業は所属する企業の経営状態によって決定する。実習生の都合で決めるものではないことを理解してください。
13	ゴミ処 理方法	ゴミを捨てる際は時間と場所、分別が細かく決められています。中国と多くのゴミ処理に違いがあります。よく理解してルールに従ってください。
14	外 泊 相 談	会社の許可を得ずに、他人(中国の研修生の宿泊所を含みます)と外泊することは厳禁です。中国の生活と実習生の生活は同じではありません。会社の管理には従わねばなりません。困ったことは会社や組合の人に相談しましょう。分からないときは相談してください。
15	会社の 電話	中国と同じではありません、電話をかけるときは必ず会社の責任者の許可を得てください。許可なしに電話使うことは厳禁です。万一、何かの事情で出来なかったときは、その後すぐに報告してください。
16	安 全 意 識	消防などの安全規則を守ろう。台所の火の不始末あるいは家電製品のスイッチ、これらは火災の原因ともなります。そうなれば結果は非常に重大です。外国で何年も苦労して頑張ったことが悲惨な結末にもなりえます。仕事によっては危険なものもあり、特に建築に従事する者は危険な要素を多く含んでいます。どんな時でもどんな場所でも「安全」に留意するようにしましょう。
17	借 金	日本の会社又は個人に借金をする行為。日本においては親戚であっても軽々しく借金の申し込みをしません。気軽に借金のお願いはしないようにしましょう。
18	流 言 飛 語	日本の会社、組合、送出し機関の名誉を毀損するようなデマを言いふらすことは出来ません。日本企業の仕事上知りえた機密など。悪質なものには法律上の責任や処罰が適用されます。
19	法律に 違反	日本の法律には絶対違反することがないようにしましょう。また日本側受入機関の決りを守らない場合は強制帰国となる恐れがあります。
20	時間 を 守る	どこで実習するにしても時間厳守は非常に重要。日本企業の仕事や人との約束で時間の概念は特に重視される。例えば、朝8時出勤の場合、10分前(7時50分)には勤務場所に来て仕事の準備に取り掛かる。そして毎日の退社時には自分の持ち場を清掃し5Sを徹底する。遅刻は厳禁、理由なく早退も認められない。仕事をボイコットすることはさらに認められない。
21	アルバ イト	アルバイトはしてはならない。
22	人の陰 口、不誠 実な態 度	もし会社や個人に何か意見がある場合は、会社や組合に意見を出してください。陰で悪口を言う行為は日本人が最も反発する行為である。積極的に誠実な態度で臨む必要がある。例えば、朝礼の終了時や給料を手渡す時、日本人は「頑張って」という言葉を口にするが、そのときは「ハイ」などと返事をする。皆さんの前で注意や改善を求められている時は素直に返答すること。日本での注意は改善で上司が怒られたりする行為は、日本では実習生の「面子を潰す」行為ではありません。この時は素直に「すみません、〇〇します」と謝ってください。上司は「怒るより、以後改善して欲しい」のです。

23	感謝や謝罪をしない	感謝：日本での仕事・生活において、実習生のためにしてくれたら「ありがとうございました」感謝の言葉を述べるべきです。中国人は「ありがとう」と言うのは「水臭い」に繋がるので言わないことが多いので注意してください。 おわび、謝る：自分がしたある行為が間違いであった場合は「すみません」とで詫び相手の許しを請うこと。中国では謝ることは「面子を潰された」行為になるが、日本では「謝れば」これで相手の「誠意」が分かったので許すことに繋がる。また、間違った原因を見つけ改善することを優先することが大事と考える。
24	浪費	食べ物を無駄にしたり、水・電気・ガスなどの使用後にしっかり止めないことは、日本の物価が非常に高いことから許されない。日本では「節約」を非常に重んじる国民性といえる。食べ物を作るときも人数分を作り、余って捨てたりするようなことはない。例えば、職場で最後に帰る者がすべての電灯・クーラー・テレビなどを消す習慣をつけることが必要。
25	許可	携帯やパソコンは会社や組合の許可が有ればもてますが、他に許可が有るのでこれをよく認識しなければならない。

日本人と中国人の考え方の違い			
		日本人の考え方	中国人の考え方
1	一般的な性格	一般的に温厚な国民性。トラブルを敬遠する。仕事の上でも生活の上でも敵を作るくらいなら中流で平穏な生活を望む。	自己偏重主義, 非常に現実主義。面子(プライドとは違う)を非常に重視する。また初めて会った人には疑いから始まる。
2	自己主張	自己より集団を大切にする。集団では出来るのだが個人の力が小である。同じ規格の物を作るのが得意である。このためスーパーで並んでいる大根まで同じ大きさである。	集団より個人が大事。集団で何かをすることが不得意なので何かを作る場合独自な方法、個人個人がバラバラに作る。結果同じものが作れない恐れがあるので不良品が多く出る場合がある。
3	対人関係	家族や親友であっても一定の礼節を重んじる(親しい仲にも礼儀あり)ので他人に対し不快感を与えたり、迷惑をかけたりにする事に敏感。例えば他人が食事をする傍で煙草を吸う。公共の乗り物で大声で電話するなど。	家族、同族から信頼は始まり出身地へと集まる傾向がある。一旦信頼できる人間と信じた時には助力を惜しまない。親しい間柄での礼儀はかえって遠慮となり敬遠される。これを冷たいと感じる。
4	食生活	食事の際はテーブルの上が汚れることを嫌う、ルールやマナーも多い。出された食事はできれば全部食べたほうが喜ばれる。	基本的に食事は大勢で楽しく美味しく、ガヤガヤが基本。ゆえに面倒なマナーほとんど存在しない。招待された食事では少し残すことが基本。残った食事はテイクアウト。
5	家族	核家族化が進んでいる。 家族以外の親戚の関係が希薄。 「遠くの親戚より近くの他人」	親族特に直系親族の関係性、結びつきは非常に強い。中国人の特徴として「中国人 VS 外国人」→「漢族 VS 少数民族」→「同省人 VS 省外人」→「同郷人 VS 他郷人」→「親族 VS 親族以外」という風に順に関係性が強くなる傾向にある

6	住環境	家屋へは靴を脱いであがる。ほとんどの家庭に畳があり、湯船を使って入浴する。	基本的に外と家の中が地続き。テーブル、いす、ベッドの生活でほとんどの家庭がシャワーのみの入浴。
7	買い物	いかに良い物を安く買えるかというスタンス。基本的に製品に対する信頼感が高い。消費者は表示価格が適正価格と信じているので価格交渉は基本的に無し、できない。	価格交渉が基本で製品、サービスに対する信頼感はない。安いものはどこまでも安くどこまでも悪く。高いものはその逆。安いものは悪いものという考え方。
8	仕事	賃金の大小とは別に仕事へのやりがい、思い入れを持っている。末端の仕事であってもプロ意識を持って仕事をする。政治家や会社社長より一職人(大工、漫画家、音楽、ゲーム制作)を目指す人が多くいる。	仕事は金を稼ぐ手段、これに尽きる。稼げるなら仕事は選ばないという感じ。一般人は建築現場作業、サービス、風俗業は最下層の仕事、政府関係者、会社経営者が最高の仕事と考えている。高い給料をもらえとなれば即転職する。
9	残業	自分がやるべき仕事を責任もって完了させるために残業をする。最近では残業は能力不足によって起こるという事で残業代を支給しない企業も多い。	残業には賃金が支払われて当然と考える。増して仕事で残業代を払わないのは最低だと考える。こんな企業はすぐに止める。
10	サービス サービス業	顧客の満足を得るのがサービスの基本。報酬は満足度に応じてついてくる。「お客様は神様です」の言葉に代表されるように顧客至上主義。高給を得ているサービス業のプロも多く存在する	給与の分、最低限のことはするのがサービス(サービス)。顧客への誠意(サービス精神)はない。レストランなどでは殆どが出稼ぎ女性の仕事。プロ意識のある人が非常に少ない
11	仕事における 人間関係	基本的に日本は絶対の縦社会。入社が1ヶ月違ってもそこには先輩後輩の序列が存在する。下が上に意見や反意を告げる際も礼儀を欠く事は厳禁。	敬語と言う習慣が無いせいか、社内での上下関係の礼儀にあやふやな部分が多い。
12	退職 辞退	退職の際は自分の仕事、職責を整理して誰にも迷惑のかからない形で辞める。トラブルが原因でやめる際にも社長や同僚などに礼儀を尽くして辞める。	社内規定があつたとしても、突然やめる例がほとんど。また後に残る仕事や同僚社員への影響もあまり気にしない。とにかく転職や辞めることは平気である。
13	海外での 仕事	留学就職含め自分のキャリアアップが目的。単に外国で長期生活がしたい等、金銭面を求め外国へ行く例は少ない。日本人同士で小規模なグループを作りやすいが基本的には「郷に入っては郷に従え」で外国の習慣を尊重する。	学歴、経済階層によって目的は様々であるが、最終的には金銭面での優遇が最重要要因。また外地でのコミュニティー作りは歴史的に見ても良くわかる。血族、友人、出身地の順番で集まる。これは信用度合いを示している。
14	人生の 目標	安定した生活を求め、安定した企業、職種につく傾向がある。	経済格差の肥大化のせいで周りよりも裕福な生活を目標とする傾向。よりいい家、よりいい車、より高い物。

15	学 習	安定した生活の為には学歴は必要。学習環境も整備されているため、国民全体が平均的な教育を受けられる。生活のため学生が学業を妨げられるケースは非常に少ない。	都市部においては日本の状況に近いが両親の収入によってはその環境が大きく変わる。農村部では金銭的な問題や生活環境により小学校を卒業できない者も少なくない。
16	進 学	家庭環境も影響するが大学に進学するものが7割以上、目的意識を持って大学に行くものは少数。	生まれ育った家庭によりほぼ決定される。農村部で子息を大学進学させるためには農家の収入から見て法外な金が必要である。
17	就 職	とにかく長期安定 極端に高収入を望むものは多くない。	就業は一時的なものと捉える。後のための資金作り、キャリアアップ等。大企業、国営企業、外資系を除けば最初から1ヶ所に長期就職は視野にない。
18	中国人（日本人）に対する意識	中国人は非常にエネルギッシュ、常に前向きで向上心旺盛。精神的に逞しい金銭面に執着しすぎる。人間関係や義理、信用より金銭を重視。個人主義、利益偏重主義。	地方の農村等では政府の偏った対日教育により日本人に対し強烈な偏見を持つものも多い。都市部では様々な面で日本文化の接触を受けるためある程度の理解がある。
19	他の外国人に対する意識	古くから白人偏重主義が強い。片やアジア人に対して偏狭な意識を持つ人もいる。古くは朝鮮人、韓国人、中国人が迫害の対象となっていた。元来単一民族の島国国家なため排他性の強い国民性であったが、敗戦以降アメリカの主導により、開放、改革、成長を遂げる。	中国こそが世界の中心であるという意識(中華思想)から、他の外国人に対して萎縮することはない。外国へ行ってもその生活力、生命力は凄まじい。世界各国に中国人エリア「中華街(唐人街)」を作っている。
20	世界の中での自国に対する意識	経済的に恵まれており、技術的にも高い水準を持っているが、国際競争力や、国際感覚という点で劣る。政治力においては各先進国の中でも最低レベル。国民の政府に対する信頼感は低い。	文化、歴史と様々な面で世界の中心にあり、中国が本気になれば出来ない事などはないと考える。政府に対する信頼度は日本とは違う意味で低く国民が政治に参画する機会は今も無いので国民の政治意識は低い。
21	都市部と農村部の違い	都市部では基本的に人間関係が希薄。排他的とは違い徹底的な「無関心」 地方特に農村部などでは老人の割合が高くなる	都市部、地方問わず他人に対し排他的な面が多い。特に居住人口の少ない農村部では同郷意識が強いだけに外地からの訪問者は警戒されやすい。
22	過失、失敗に対して	自分の過失が明らかな場合、迷惑をかけた相手への誠意としてまず謝る。また誠意を見せる相手には過失に対する必要以上の追求はしない。逆に自分の非を認めない相手には徹底的に攻撃することもある。	自分に非があってもまずはその責を軽減するため言い訳から始まる。謝罪をするという事は自分の非を全面的に認める事になり、どんな要求をされるか判ったものではないためである。ゆえに相手の謝罪を誠意とは捉えない。

23	叱責に対する反応	日本人は素直に自らの非を認めることは恥ではなく美德とする。故に正当な叱責に対しては素直にこれを受け入れる。無法な叱責、罵倒に対しては人により異なる。	まず自分の非を認めたがらないため、叱責を指導ではなく罵倒と受け止める。特に人前で叱責を受けた場合、自分にどんな非があろうとも面子(対外的評価)を潰されたと逆恨みすらする。
24	他人の自身に対する評価	謙譲が美德とされるため、自己評価も控えめ、また日本においてはそれがマイナスとなる要素も少ない。(能ある鷹は爪を隠す)逆に対外的に自分を過大評価することは様々なトラブルを生む原因となりうる。	可能な限り自己を過大評価する、故に面接等でも本人の能力の自己申告は最初から信用外。
25	交通マナー	自動車は左側通行。人が最優先。歩行者と自動車が事故を起こした場合、どんな理由があろうとも100%自動車の過失となる。ちなみに自転車は歩道を走らなくてはならない。歩道が無い場合は左側通行が原則。交通事故を起こしたら警察への通報が義務。通報しないと罰せられる。	自動車は右側通行の車優先社会。自動車も歩行者もまず自身の利便性を優先。都市部ではどこから歩行者が飛び出してくるか判らないため、車はあまりスピードを出していない。交通事故を起こしてもまずは責任比重の擦り付け合い。警察を呼ばないこともしばしば。
26	音について	敏感すぎる 他人の立てる騒音を不快に感じる	あまり敏感ではない
27	臭いについて	敏感すぎる 自分の体臭を気にする	敏感でない人もいる
28	お風呂	基本的に毎日お風呂に入る	毎日入浴するとは限らない
29	服装	2日続けて同じ服をきる事が珍しい傾向が大ある	2日続けて同じ服を着る事は珍しい事ではない
30	環境への意識	日増しに向上、食用油の処理は古新聞に包んで、燃えるゴミとして捨てる	一部の人は関心が薄い、例えば食用油をシンクに直接流して捨てる等。
31	仕事の終わり	ある仕事の区切りがついたとき	退社時間
32	問題に直面したときの態度	良いわけは許されない自分ができることから問題解決に着手する	言い訳をする自分の不利益にならないポイントから考える
33	入社時の要求	会社が周到なオリエンテーションを実施。オリエンテーションを受ける人員にやや盲目的に会社に服従することを要求する	会社が入社時のオリエンテーションを実施することが少ない。個人の能力によって判断される

34	先輩や上司に対して	非常に尊重する。反対はしにくい	自己の利益が第一。あるときは反抗も（これは日本社会では受け入れ難い）
35	おわび	相手の困惑や不満に直面した時、まず、初めにおわびをする（相手を立てる） 問題を認識することからはじめ、解決プランを考える	できるだけわびることを避けようとする、（日本人の目には相手を尊重せず、自分を重視しているように映る）
36	感謝	知人であれ見ず知らずの人であれ協力や手助けを受けたときは、同じように感謝の言葉を口にする	知人に対しては感謝の言葉は口にしない、感謝の言葉を使うことは他人行儀で水臭いと感じる
37	疑い	他人に対して疑いを抱くことは恥ずべきこと	他人に疑いを抱かず、容易に他人を信じることが非常に世間知らずで愚かな事
38	嘘	ウソも方便 ウソつきは泥棒の始まり	一般生活上の嘘は日常茶飯事 例えば、買い物時の値段の駆け引きなど
39	信用	初めての人に会ったときは、その人を信用することから始める。	始めての人にあつた時は、疑いから始める。
40	他人の目	非常に気にする	あまり気にしない
41	ルールに対して	道理に合っているかとはともかく、まずルールを遵守する。守ってこそルール。守らなくていい物はルールではない	ルールがあるかとはともかく、まず、抜け道がないかを探す。その後、自己の利益を確保しようとする
42	仕事で追い求めるもの	顧客の満足。自分の満足。給料	給料。ある者の仕事の態度から自分の給料がお客の財布から来ていることが感じられない。そのほか仕事の満足感を給料よりも重視することは無い
43	メンツに関して	面子を重んじることはあるにはある。面子よりプライドを重んじる傾向がある、しかし中国人の面子は日本人と比べ物にならない。	面子はあるときは命と同じくらい重要なもの。プライドとは違う。人前で叱咤されることを極度に嫌う。 時には上司であろうが喧嘩になる
44	お金を借りることに對して	友達からは極力お金を借りないようにし、友人関係に影響が出ないようにする	もし、友達が自分にお金を貸してくれない場合、友人関係が弱くなることもある